

# 取引制度に関するヒアリング結果等の解説



令和2年6月  
東京都環境局

# 「取引意向及び準備状況等に関するヒアリング」

## (1) 調査の目的

## 調査概要

- 温室効果ガスの総量削減に当たり、自らの削減対策方法と排出量取引における手続きや売買対象のクレジットに対する考え方について、事業者の認識を把握する。

## (2) 実施期間

令和元年8月14日から9月4日まで、令和2年1月28日から2月27日まで

## (3) 調査対象

- ・ 第二計画期間において超過の見込みで、第一計画期間のクレジット保有量が多い9事業者
- ・ 第二計画期間において義務履行に当たって排出量取引が必要だと見込まれる9事業者

**合計18事業者**

# 「取引意向及び準備状況等に関するヒアリング」 調査概要

## (4)調査方法

面談による聞き取りを実施

## (5)調査項目

全事業者向けの共通項目及び義務履行方法別の個別項目を設定

	自らの対策による削減での義務履行が見込まれる事業者	義務履行に当たって排出量取引が必要だと見込まれる事業者
共通	<ul style="list-style-type: none"><li>排出削減対策や排出量取引に係る組織体制</li><li>第一計画期間及び第二計画期間の排出削減対策及び義務履行達成方法</li><li>排出量取引の準備から実施までの手続き、期間等（過去に実施した場合）</li><li>排出量取引の評価、課題、障害等</li></ul>	
個別	<ul style="list-style-type: none"><li>第一計画期間で取得したクレジットの活用方法（売却、売却以外）とそれを判断する時期</li><li>第二計画期間で取得するクレジットの活用方法</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>クレジット購入の時期・計画等</li><li>クレジット購入の方法</li><li>購入を希望するクレジットの種類</li><li>クレジット購入決定に当たり優先する事項</li></ul>

## 【共通項目】排出削減対策や排出量取引に係る組織体制

- 基本的に、複数の事業所を有する場合には、各事業所で対策や排出量取引の検討を行っている。
- 規模によっては担当者が事業者内に1名の場合もあれば、委員会等を組成し組織全体で意思決定を進める場合もある。また、ビル管理会社に削減対策の検討や実施を委託している事業者も存在する。

# 【共通項目】第一計画期間及び第二計画期間の排出削減 対策及び義務履行達成方法

## ➤ 【売り手】

照明機器のLED化だけでなく、低炭素電力の活用や高効率な設備更新や燃料転換など、幅広い対策を実施

## ➤ 【買い手】

- ・ 対象事業所の施工が最近なので、削減余地が少ない。
- ・ (医療施設)最先端機器を取り入れているためにエネルギー消費量が増加してしまうが、その分省エネや高効率機器の導入に力を入れている。
- ・ (食品工場)夏場ほど温度管理が必要でない冬場においてはより積極的にエネルギー削減に取り組んでいる。

## 【共通項目】排出量取引の準備から実施までの手続き、期間等(過去に実施した場合)

### ➤ 必要な手続き

買い手となる事業者の中には、クレジット購入に向けて予算を予め確保するケースも。他方で不足量が少量のため、担当部署内で決裁を進める事業者もあった。

### ➤ 手続きにかかる期間

排出量取引に慣れている場合は、見積の依頼からクレジットの移転まで最短で2か月程度。他方で半年以上かかるケースも。

## 【共通項目】排出量取引の評価、課題、障害等

### ➤ 【売り手】

- ・ 買い手を探すのが容易ではない。
- ・ 第三計画期間では超過削減が見込めそうにない。
- ・ 制度が複雑であるため、提出書類の作成等にあたって実務に支障をきたす。

### ➤ 【買い手】

- ・ 第三計画期間ではクレジットが買うが上がるのではないかと心配
- ・ 基準排出量設定にあたって不利な期間が対象となってしまうため、不公平だと感じた。

## 売り手

### 第一計画期間で取得したクレジットの活用方法 (売却、売却以外)

- 社会貢献的な側面として、「東京ゼロカーボン4 デイズ in 2020」への寄付や、無効化を考える事業者も。
- グループ会社内での無償による融通や売却を検討しているものの、実際の取引には結びつかないといった声もあり、抹消を視野に入れている事業者も一定数存在する。

### 第二計画期間で取得するクレジットの活用方法

- 全ての事業者が、第三計画期間は義務率が上がることを考慮して、バンキングすると回答

## 買い手

### クレジット購入の時期・計画等

- 全ての事業者が、不足量が確定した後の整理期間(2020年4月～2021年9月)に実施すると回答

### クレジット購入の方法

- 手続き面のサポートなどにより仲介事業者経由で購入を検討する事業者が多い。仲介事業者についての情報は、東京都が主催するマッチングセミナーや都のウェブページ等より入手している。
- より安く購入することを希望する事業者の中には、最低価格で調達するために入札方式で購入を検討する事業者もいる。

## 買い手

### 購入を希望するクレジットの種類

- 種類にこだわらない事業者もいれば、価格の観点から超過削減量を選択すると回答する事業所も一定数いた。
- 再エネクレジットについては、取引実績が無いクレジットである場合、社内で説明する際に理解を得にくく、結果として超過削減量を選択するという回答もあった

### クレジット購入決定に当たり優先する事項

- 多くの事業者が価格を最優先すると回答。
- 他方で、公共性の高い事業所などでは、取引相手の信頼性を重要視するとの回答や、今後の関係性を踏まえて取引相手を決定するとの回答もあった。